

平成 26 年 1 月 9 日 市政記者クラブ提供資料

「地震防災シンポジウム ～道でつなぐ災害に負けない自信のある地域に～」
の開催について

◆と き

平成 26 年 2 月 2 日（日） 13：30～17：00（13：00開場）

◆ところ 鈴鹿市民会館ホール

◆主催 国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所

◆共催 三重県, 鈴鹿市

◆目 的

南海トラフ巨大地震の発生が危惧される中, 三重県においても甚大な被害が予想され, 人的被害に加え, 道路の寸断等による都市機能の麻痺により住民生活や企業活動に大きな影響を及ぼすと言われている。本市をはじめとする三重県北中部地域は, 県内の人口や産業の集積地であり, 当該地域の被害を最小限に抑え, 都市機能の早期復旧を図ることは安定した住民生活を早期に確保する上で, 重要な課題となっている。

本シンポジウムは, 東日本大震災の教訓を風化させず, 今後, 同地域に起こりうる同規模の地震による災害被害を最小限にし, 被災時に住民への緊急支援や企業の事業継続を可能にする道路ネットワークの必要性について意見交換を行い, 広く市民に広報することを狙いとする。

◆内 容

- 13：00 開場
- 13：30 開会の挨拶 三重県知事
- 13：40 基調講演「巨大地震災害に備えて」
講演者 三重大学大学院工学研究科准教授 川口 淳 氏
- 14：30 特別講演「生活者, 企業をおびやかした問題と実体験」
講演者 岩手県釜石市長 野田 武則 氏
- 15：10 休憩
- 15：20 パネルディスカッション
「災害への備え 三重県と鈴鹿市は災害にどう向き合うべきか」
- 16：50 閉会の挨拶 鈴鹿市長

パネルディスカッション

コーディネーター 川口 淳 准教授

パネリスト 三重県知事 鈴木 英敬 氏

鈴鹿市長 末松 則子 氏

本田技研工業(株)鈴鹿製作所長 山根 庸史 氏

日本トランスシティ(株)会長 (三重県商工会議所連合会会長)

小林 長久 氏

国土交通省中部地方整備局長 八鍬 隆 氏

意見陳述 亀山市長 櫻井 義之 氏

◆備考

・先着 1,000 名に整理券を配布し、シンポジウム終了後に防災食、食品用ラップフィルム 2 本、エコバックを配布する。

[問い合わせ先]

土木総務課 松岡正朋 直通電話 382-9072 / 庁内内線 3710